

「食のブランド化」を通じた観光振興

「食」の魅力は重要な観光資源

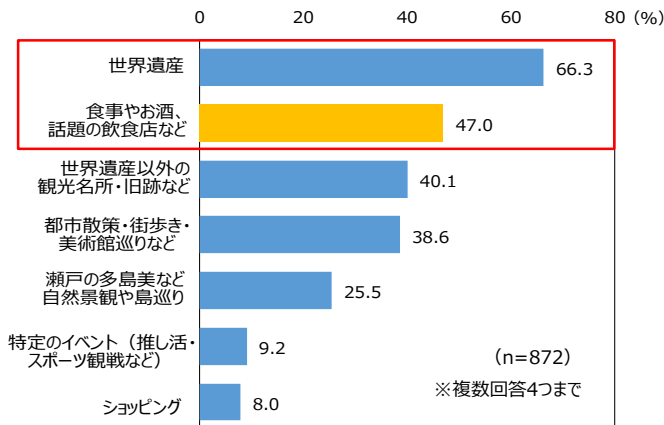
ひろぎんHD経済産業調査部が今年8月に実施したアンケート調査（※1）によれば、広島県を観光・レジャーで訪れた人の最大の目的は「世界遺産」（原爆ドーム、厳島神社）で、全体の3分の2を占めています。次いで多いのが「食事やお酒、話題の飲食店など」で、半数近くの人が「食」を観光の目的に挙げています（図表1）。

このことは、魅力ある「食」の存在そのものが重要な観光資源であることを示しています。因みに、じゃらん宿泊旅行調査（※2）「都市の魅力度ランキング編」の「地元ならではのおいしい食べ物があった」ランキングにおいて、広島県は2024年度には全国4位に上昇しており、お好み焼きや牡蠣、尾道ラーメン等が人気メニューとして挙げられています（図表2）。

（※1）調査対象：首都圏・関西圏在住で、概ね年1回以上宿泊を伴う国内旅行を行う20歳以上の男女2,080名

（※2）じゃらんサーチセンターが全国の宿泊旅行者を対象（2024年度は15,586人）に毎年実施しているアンケート調査

図表1 広島県の観光目的（上位7項目）



（資料）ひろぎんHD経済産業調査部（以下、当部）「広島県の瀬戸内観光のニーズ調査」（2025年8月実施）

図表2 「地元ならではのおいしい食べ物があった」ランキング

2023年度		2024年度	
1	石川県	1	高知県
2	福岡県	2	長崎県
3	鹿児島県	3	山形県
4	高知県	4	広島県
5	宮崎県	5	北海道
6	宮城県	6	石川県
7	広島県	7	香川県
7	大分県	8	熊本県
9	沖縄県	9	大分県
10	北海道	10	宮城県

（資料）「じゃらん観光国内宿泊旅行2024・2025」（リクルートじゃらんサーチ調べ）より当部作成

「食のブランド化」による観光消費額の拡大

広島県では2023年2月より、観光消費額の増加と県内産農林水産物の消費拡大を目指す「おいしい！広島」プロジェクトを実施しています。

今年度は広島県出身の吉川晃司、奥田民生の両氏を応援団長に任命して首都圏等でのプロモーション活動を実施しているほか、「瀬戸内さかな」、「比婆牛」などの特別メニューを県内飲食店で提供するグルメフェアを開催するなど、多彩な県産食材のブランド化を推進しています（図表3）。

こうした取り組みを通じて、広島の新たな「食」の注目度（価値発信）と付加価値（価値づくり）が高まり、「食」を目的に多くの旅行者が来広することが期待されます。

図表3 「おいしい！広島」プロジェクトの取組例

実施期間	内容
7月1日～8月31日	➢ 瀬戸内さかな・広島和牛のブランド化に向けて県内飲食店でのプレミアムグルメフェアを開催
9月17日～10月19日	➢ 瀬戸内さかなと日本酒のペアリングを提供する飲食店で「瀬戸内さかな×日本酒」堪能キャンペーンを実施
9月22日	➢ 料理人を応援するための学びの場「ひろしま食文化アカデミー」を開催

（資料）広島県『「おいしい！広島」プロジェクトの令和7年度上半期の取組状況について』より当部作成

品質向上のため
アンケートにご協力ください。



PCの方は
こちらを
クリック

※ ナインアウト株式会社が提供するアンケートサイトへ遷移します。

- ◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家に相談のうえ、ご確認ください。
- ◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
- ◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんHD経済産業調査部 担当：稲田（TEL082-247-4958）までお願いします。